

第10回自動車安全シンポジウム 案

「今後普及が見込まれる新たな自動車と安全対策」
～エコカーやパーソナルモビリティなどの普及を見据えて～

地球温暖化、エネルギーセキュリティといった環境問題を背景に、ハイブリッド自動車、電気自動車、コンパクトカーなどの燃費性能が優れた「エコカー」の普及が本格的になってきている。一方では、昨年のシンポジウムテーマで取り上げた『高齢社会への対応』に向かって、「パーソナルモビリティ」などの新たな自動車の提案が始まっている。今後普及が見込まれるエコカーやパーソナルモビリティといった自動車が、今ある自動車に置き換わった時とその過程においては、交通環境の変化、モビリティの変化などに伴って発生するさまざまな対応すべき課題が発生することも想定される。専門の方々に、それぞれのご立場から問題を提起していただくとともに、近未来の自動車社会において必要となる安全対策についてご議論いただく。

日時：2009年10月29日（木）13:30～

場所：幕張メッセ（東京モータショー会場）

【1部：講演】

◆今後の車両安全対策の方向性

（島 雅之 国土交通省 自動車交通局 技術安全部技術企画課 国際業務室 室長）

- ・安全対策全般＋エコカー関係の安全対策

◆事故分析部会と安全基準検討会の活動報告と今後の活動方針

（吉本堅一 東京大学 名誉教授）

- ・活動全般＋エコカーに関する検討状況

◆危険学に学ぶ交通事故回避のための新たな自動車への接し方

（学識経験者）

- ・過去の失敗（失敗学、危険学）に基づく今後の対応に関するヒント

◆ハイブリッド自動車、電気自動車、コンパクトカーの安全対策

（〇〇〇〇 日本自動車工業会）

- ・電気安全、電池安全、水素貯蔵の安全対策
- ・軽量コンパクトボディ車の被害軽減対策（コンパティ）

※講演では、パネルディスカッションに繋げる問題提起していただく（可能であれば）

【2部：パネルディスカッション】

司会：室山哲也（NHK解説主幹）

◇ハイブリッド自動車、電気自動車、コンパクトカーに望むこと

（岩貞るみこ モータージャーナリスト）

- ・エコのために安全を犠牲にしない
- ・もっと安全で豊かな社会のためのエコカーとは

◇ハイブリッド車等の静音性に関する対策の検討状況

（鎌田実 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長）

- ・音色、レベル、受容性、発音技術など認知性、受容性、実用性などの課題は何か

◇エコドライブの実践と安全運転効果（支援デバイス）

（小林伸治 （独）国立環境研究所 社会環境システム研究領域
交通・都市環境研究室 客員研究員）

- ・エコドライブ（エコカー普及）は、安全にどの程度寄与するか
- ・エコの必要性を専門家の立場から解説

◇パーソナルモビリティの共存による交通環境変化と安全への影響

（学識経験者）

- ・多様化する車両と道路交通環境の変化において、共存するための課題は何か

(参考) これまでの自動車安全シンポジウムのテーマ

	開催日時	開催場所	テーマ
第1回	H12. 7. 21 (金)	霞ヶ関東京會館	より安全なクルマを目指して
第2回	H13. 6. 22 (金)	国連大学	21 世紀型の安全な車社会を目指して ～尊い命を守るために～
第3回	H14. 9. 17 (火)	国連大学	より安全な車社会を目指して
第4回	H15. 10. 24 (金)	幕張メッセ	高齢者のための車両安全対策
第5回	H16. 11. 6 (金)	幕張メッセ	トラック重大事故への挑戦 (事故の現実と車両安全対策の役割)
第6回	H17. 11. 2 (水)	幕張メッセ	対策の効果評価とこれからの 自動車安全対策
第7回	H19. 2. 15 (木)	大手町サンケイ プラザ	自動車の予防安全対策について
第8回	H19. 10. 30 (火)	幕張メッセ	大型車の安全対策について
第9回	H20. 12. 3 (水)	ニッショーホール	高齢社会への対応